

骨折4A上肢 鎖骨

1993J168

鎖骨骨折の症状について誤っているのはどれか。

- 鎖骨をやや健側に傾けて疼痛を緩和させている。
 - 上肢の運動制限はない。
 - 骨折部の変形と限局性圧痛が著明である。
 - 患側の肩は下がっているように見える。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

骨折4A上肢 鎖骨

1994J165

鎖骨骨折について正しいのはどれか。

- 小児では第三骨片を生じることが多い。
 - 直達外力によって多く発生する。
 - 繰り返し整復を行うと治癒が遅延する。
 - 整復位固定保持が困難である。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

骨折4A上肢 鎖骨

1995J159

定型的鎖骨骨折について誤っているのはどれか。

- 中樞骨片は前上方に転位する。
 - 鎖骨の中1/3と外1/3との境界部で骨折する。
 - 骨片は大胸筋の緊張により転位する。
 - 肩鎖靭帯が断裂すると骨癒合が遅延する。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

骨折4A上肢 鎖骨

1997J161

肩鎖関節脱臼と誤りやすい鎖骨骨折の部位はどれか。

- 内端部
- 中央部
- 中・外1/3部
- 外端部

骨折4A上肢 鎖骨

1998J161

鎖骨骨折の座位整復法について誤っているのはどれか。

- 患者の脊柱部に膝頭を当てる。
- 胸郭を拡大させるよう肩を後方へ引く。
- 患側の肩内転位にて上腕を突き上げる。
- 骨片に直圧を加え整復する。

骨折4A上肢 鎖骨

2000J162

鎖骨骨折で誤っているのはどれか。

- 小児では第三骨片が多発する。
- 介達外力によって多発する。
- 大胸筋の牽引で短縮転位する。
- 整復位固定保持が困難である。

骨折4A上肢 鎖骨

2002J162

鎖骨骨折の後遺症でないのはどれか。

- 偽関節
- 変形治癒
- 肩甲上神経麻痺
- 外傷性関節症

骨折4A上肢 鎖骨

2005PM55必修

鎖骨骨折について正しいのはどれか。

- 直達外力による骨折が多い。
- 内・中1/3境界部の骨折が多い。
- 異常可動性がなければ骨折を否定できる。
- 上肢の重さは再転位の要因となる。

骨折4A上肢 鎖骨

2007PM69

鎖骨骨折について誤っているのはどれか。

- 頭部を患側に傾ける。
- 患側の肩を挙上する。
- 患側の肩幅が狭くみえる。
- 患肢を健側の手で保持する。

骨折4A上肢 鎖骨

1993J169

鎖骨骨折について正しいのはどれか。

- 幼児の若木骨折は整復を必要とする。
 - セイヤーの絆創膏固定は転位の大きい場合に使用する。
 - 非観血的固定法には背側8字包帯固定法がある。
 - 枕子を腋窩に強く用いると血管や神経を圧迫するおそれがある。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

骨折4A上肢 鎖骨

1994J166

鎖骨骨折の固定法として適切でないのはどれか。

- 8字帯固定法
- T字状副子固定法
- ハンギングキャスト法
- バンド固定法

骨折4A上肢 鎖骨

1996J158

鎖骨骨折について誤っているのはどれか。

- 腋窩神経損傷を伴う。
- 介達外力で発生しやすい。
- 中・外1/3部の中樞骨片は後上方に転位する。
- 整復の繰り返しは偽関節形成の要因となる。

骨折4A上肢 鎖骨

1997J162

鎖骨骨折の合併症でないのはどれか。

- 腕神経叢損傷
- 胸郭出口症候群
- 変形治癒
- 偽関節

骨折4A上肢 鎖骨

1999J164

鎖骨骨折の症状で誤っているのはどれか。

- 患側の肩は下がる。
- 肩幅は増大する。
- 頭部は患側に傾く。
- すり足歩行を行う。

骨折4A上肢 鎖骨

2001J161

鎖骨骨折で正しいのはどれか。

- 高齢者の発生頻度が高い。
- 小児の骨折は複合骨折の発生頻度が高い。
- 外側端骨折は骨癒合が良好である。
- 後遺症として変形癒合の発生頻度が高い。

骨折4A上肢 鎖骨

2003J63

鎖骨若木骨折の症状でみられないのはどれか。

- 限局性圧痛
- 介達痛
- 上肢挙上障害
- 二次性転位

骨折4A上肢 鎖骨

2006PM74

鎖骨骨折の初検時にみられないのはどれか。

- 患側肩部が下垂している。
- 患側上肢を健側で抱えている。
- 患側の肩幅が健側に比べ狭い。
- 頭部を健側に傾けている。